

社団法人 地盤工学会
技術普及委員会
 平成20年度第3回議事録

日 時	平成20年 8月 21日(木) 15:00~16:30					会 場	地盤工学会会議室	
委員長	古屋 弘	○	副委員長	小林 恒三	○	幹 事	原 忠	○
幹 事	竹山 智英	×	委 員	前川 太	○	委 員	白石 保津	×
委 員	石井 建樹	×	委 員	山田 悦子	×	委 員	伊藤 和也	○
委 員	舟橋 景介	○	委 員	北田 貴光	○	委 員	谷本 俊輔	×
委 員	王 林	×	委 員	今井 優輝	○	委 員	水野 健太	○
事務局	古藤田 純	○						
○ : 出席 × : 欠席 △ : 未定								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料 1)
 ・ 原委員を指名した。
2. 前回議事録の確認 (資料 20-3-1)
 ・ 確認された。
3. 平成 20 第 3 回事業部会報告(議事録)(7/22) (資料 20-3-2)
 ・ 古屋委員長より要旨紹介があり、確認された。
 地盤工学会基準の DVD 化を了承。
 WEB ラーニング、本年度も応募する意向。
4. 平成 20 年度第 4 回理事会報告(7/31) (資料 20-3-3)
 ・ 古屋委員長より要旨紹介があり、確認された。
 正・副会長の所轄する部等、事業部の主担当は末岡副会長。
 創立60周年記念事業に事業部が協力する(全国大会前後に記念行事を予定、記念DVDの制作)
 地盤工学会が公益法人に移行する場合、定款に内部で行う事業を明記する必要がある。
 講習会の企画の際にはテーマ名に配慮すること。
5. 講習会開催報告および収支報告 (資料 20-3-4)
 ・ 7月及び8月開催の2件について事務局(古藤田)より報告があり、確認された。(表-1参照)

表-1 6月及び7月開催の講習会速報

講習会名	会 場	会員	非会員	学生	後援	予定	参加者	率(%)
	開催日	予算(円)		実績(円)		実績の収支差見込み(円)		
「地盤・耐震入門」講習会	JGS 会館大会議室	58	16	0	0	40	74	185%
	7月25日	391,000		788,000		606,362		
三軸圧縮実技講習会	東大生研	9	1	3	0	14	13	93%
	8月6日-8日	802,000		728,000		234,600		
今年度累計(4月~7月)		5,989,000		7,772,000		4,290,334		

6. 事業部一般会計収支報告 (資料 20-3-5)
 ・ 事務局より報告があり、確認された。
 ・ 出足好調で当月までの実績累計(7,772,000円)が予算累計(5,989,000円)を上回っている。

- ・ 今後A2版のポスター配布に関する講習会PR費の大幅な支出が見込まれる。

審議事項

1. 平成 20 年度技術講習会

(ア) 進捗状況 (資料 20-3-6)

- (1) 海外工事・国際協力講習会(会計NO.026) (11月予定) 担当：伊藤委員
 - ・ 思うように進んでいない。JICA経由で講師を選定中
- (2) 土の弾塑性構成モデル講習会(会計NO.028) (11月予定) 担当：竹山委員
 - ・ プログラム・講師案選定中。
- (3) わかりやすい構造物基礎講習会(会計NO.029) (12月予定) 担当：前川委員
 - ・ 新刊本出版時期遅延が見込まれ、今年度開催が絶望的であるため、次年度送りとする。
- (4) 土構造物メンテナンス講習会(会計NO.024) (12月予定) 担当：舟橋委員
 - ・ 10月開催でまとまったがPRの期間が不足しているため、10月開催を保留とし、12月開催で講師に再度打診する。
- (5) 建設工事と環境負荷低減技術講習会 (会計NO.035) (1月29日予定) 担当：伊藤委員
 - ・ 出版と開催日が近いので注意が必要。
- (6) 建設・産業副産物の地盤工学的有効活用講習会(会計NO.033) (3月予定) 担当：石井委員
 - ・ 港研(菊池氏)と内容調整中。前回同様3月開催の可能性はある。
- (7) 薬液注入工法の理論・設計・施工講習会(会計NO.021) (1月予定) 担当：原委員
 - ・ 新刊本出版時期が遅れており今年度開催が絶望的であるため、次年度送りとする。

(イ) 年間行事スケジュール

(資料 20-3-7)

- ・ 事務局より報告があり、確認された。

(ウ) No.027「液状化を考慮した地盤と構造物の性能設計講習会」関東支部との連携について (資料 20-3-8) (別添資料 4)

- ・ 古屋委員長より事情説明があった。審議の結果、事業部講習会の内規の変更を行わず、従来通り支部作成のテキストの買い取りで対応することになった。

(エ) 関西支部からの要望:今年度のインターネット講習会開催について

(資料 20-3-9)

- ・ 古屋委員長より事情説明があり、インターネット講習会の継続を確認した。今後予定する講習会については、事務局を通じて再度他支部に参加を打診することになった。

2. 講習会改革:

(ア) H21 年度講習会テーマ案の検討

(資料 20-3-10)

- ・ 古屋委員長より、次年度講習会の一次案を10月までに決定する必要があるため、各委員は後日事務局より配信される既往の講習会テーマを参考にテーマ選定の準備に入って欲しいとの要請があった。
- ・ 次回開催の委員会で次年度講習会の一次案を選定することになった。

(イ) H20 コース制に関する検討

(資料 20-3-11、追加資料 1)

- ・ 今井委員(WG主査)より、追加資料の要旨の説明があった。審議の結果、コース制改変は基本的に提案の基礎ポイント、応用ポイントを新たに設定することになった。

- ・ ①現行の基礎コースの扱いとCPDポイント付加について、②現行のコースから新コース以降に関する扱い、の2点に関して、再度WG内で素案を討議することになった。
- ・ コース制運用にあたり、土木学会に類似した資格制度の導入に関する意見が出され、継続教育委員会に提案することになった。

(ウ) 講習会オンデマンド化に関する検討

(資料 20-3-12)

- ・ 小林委員(WG主査)より、8/7開催のWGでの審議内容について、下記の報告があった。
- ・ 理事会説明資料を作成するにあたり、久保田情報技研の積算根拠を学会として把握するため、8/20頃を目途に原価内訳を記した見積書の再提出を依頼した。
- ・ お試し版(第1版)で指摘された問題点を改善した第2版を作成し、支部配布のうえ、第2回アンケートを実施することになった。
- ・ 不正コピー、ID/PW漏えい防止策について引き続きWG内で検討することになった。
- ・ 以上のWG活動を踏まえ、平成21年度講習会の一部をオンデマンド化することになった。

(エ) 効率的なPRの検討

(資料 20-3-13)

- ・ 事務局より、資料に関する説明があった。
- ・ 講習会のPRに関して、他協会・学会との相互互換が不足しているとの意見が出され、CPD協議会に参加している協会・学会宛に開催情報の掲載を依頼してもらうよう継続教育委員会に打診することになった。

3. その他

3.1 WEBラーニングについての検討

- ・ 古屋委員長より、JST内の内規の改訂により、昨年度より公募が遅れている旨の説明があった。

付記：

- ・ 次回委員会開催日 平成20年10月8日(水) 13:30~16:30 於：JGS会館会議室

事業部会(8月22日)への提案・報告事項

報告事項	① H20開催日およびプログラム決定講習会 ② WEBラーニングについての検討
審議事項	③ 講習会オンデマンド化

以上